

# 令和7年度 自己評価並びに学校関係者評価の結果報告の各分野における評価が低い項目に 対しての改善策

## I. 教育理念・目標

この項目についてはおおむね良好になってきている。さらにホームページ等広報で広げていきたい。

## II. 運営

10 教育活動に関する情報公開が適切になされているか

11 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

評価は 10 2.8 (3.5) 11 2.8 (2.5)

授業の様子等は頻繁に情報を更新し公開されている。学校自己評価については、今後公開予定。

今年度教室のパソコンについては Windows 11 パソコンに入れ替え利用しやすくなった。職員室のパソコンは予算の関係上当分難しい。事務共有のデータについては、フィル基準票を見やすく見つけやすいようにする。

## III. 教育活動

23 介護分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みがおこなわれているか

24 職員の能力開発のための研修等が行われているか

評価は 23 2.8 (2.5) 24 2.8 (2.3)

各教員はオンライン研修を含めて研究日等を活用し、様々な方法で先端的な知識や技能の修得、能力開発に努めている。

来年度教科書の一部が改訂されるので共通理解を深める研修を行っていく

## IV. 学修成果

27 退学率の低減が図られているか

29 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

評価は 27 2.4 (3.3) 29 2.8 (2.5)

今年度退学者が3名（11名中）と大幅に増えてしまった。1名は入院予定等によりやむを得ないが2名は進路変更であり、入学時の説明や気持ちの揺れに対応したきめ細かな指導をしていく必要がある。

卒業生への追跡調査を行い（可能な範囲で）事例として在学生と考えを共有し、現在の学びのなかで生かしていく。

## V. 学生支援

38 高校・高等専修学校との連携によるキャリア・職業教育の取り組みが行われているか

評価は 38 2.8 (2.5)

高校の進路指導の事業に協力する

本校の卒業生で資格を取得できていない者に対して授業参加などで資格取得に繋げたい。

## VI. 教育環境

### 40 学外研修、インターンシップ等についての十分な教育体制を整備しているか

評価は 40 2.8 (2.8)

コロナ後、以前のような高等学校のインターンシップ事業は再開されていない。次年度も積極的に高等学校へ受け入れを働きかけていく。

## VIII. 財務

### 45 中長期的に学校の財政は安定しているといえるか

### 46 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

評価は 45 1.6 (1.8) 46 2.2 (2.3)

令和7年度の一般学生と職業教育訓練生は前年度と比べ減少し、財政的には更に厳しい状態になっている。学生募集に在校生、卒業生のほか実習先施設においても学校発信に協力をいただき、一人でも多くの募集につなげていきたい。また、地元の高校生の減少も要因としているが、更に本校の広報活動に工夫を加えてすすめていく。

## X. 社会貢献・地域貢献

### 55 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

評価は 2.8 (3.3)

教育訓練の受託という点では、毎年実施しており介護福祉士として地域に送り出している。地域に対する公開講座については、社会福祉協議会等と連携しながら模索していきたい。